

OnBase

a hyland software solution

PRODUCTDATA

Microsoft Wordドキュメントコンポジション

Microsoft Wordドキュメントコンポジションとは

OnBaseのMicrosoft Wordドキュメントコンポジションモジュールは、複数のソースから情報を収集し、Microsoft Word文書のダイナミックな生成を自動化します。ユーザーは、点在する様々な情報ソース間を行き来して手動で業務文書を作成する必要がなくなり、従業員の生産性が向上します。組織は正確で一貫した標準文書を作成することで、法務、コンプライアンスの潜在的なリスクを回避できます。

どのように機能するか

ドキュメントコンポジションは、容易に設定できるWordテンプレートと複数データソースから情報を収集する機能を活用することで、ユーザー入力によるデータと外部データソースをダイナミックに編集して文書を完成させます。また、E-フォームデータ、文書のキーワードやプロパティ、ワークビュー値、テンプレートフラグメントおよびイメージ文書などのOnBaseデータを完成文書に含めることができます。ポイント・アンド・クリックで設定可能な文書テンプレートを使用し、サードパーティデータベース情報、ユーザー入力、およびOnBase内のデータをプログラミングの知識なしでも取り込むことができます。オプションとして自動キーワードインデックスや変数データベースのテキストをダイナミックに組み込むことも可能です。柔軟に設定できるセキュリティにより、プレビューの強制または文書作成後の編集や文書格納オプションなど、テンプレートの追加オプションが使えます。文書作成は、OnBaseまたはWebクライアントでスタンドアロンのプロセスとして、あるいは既存の文書からトリガーすることも可能です。また、文書生成の全プロセスをOnBaseワークフローで自動化することも可能です。自動文書生成オプションは、短期間に大量の文書を生成する必要がある企業に拡張性があるマルチスレッドソリューションを提供します。文書生成はサーバー間で配信され、管理が容易なスケールアップで冗長的な環境を作ります。

だれが利用できるか

定期的に通信や文書化を手動で行っている企業は、Microsoft Wordドキュメントコンポジションを使い、作成と配信を標準化することで効率を向上させることができます。

異なるデータソースから情報をダイナミックに組み込める編集方法の指定や、完成文書の保存と電子メールオプションによって説明責任を向上させ、これらの業務に関わる作業量を削減し、サイクルタイムを短縮します。また、このモジュールは、OnBaseに文書テンプレートを一元化することで文書作成の一元管理を可能にします。さらにEDMサービスを使用することで、より厳重な管理を行えます。

技術的特長

- 複数のデータソースからデータをダイナミックに収集
- ポイント・アンド・クリックで基本的な文書テンプレート設定が可能
- 電子メール、印刷、および生成した文書の保存設定
- 柔軟なセキュリティオプション
- 文書生成後の改ざん防止
- 高ボリュームの文書作成に配信、マルチスレッドソリューションを提供
- OnBaseワークフローやEDMサービスモジュールと連携

ビジネス利点

- 文書生成を標準化して内部統制やコンプライアンスを支援
- 作成プロセスの自動化、テンプレートの一元化、文書の格納によって効率を向上
- 複数のソースから情報を直接移入することでデータの整合性を促進
- 自由入力の文書作成と手動のデータ入力エラーに関連するリスクを削減

システム要件

- OnBase6.2またはそれ以上
- OnBaseクライアントライセンス
- OnBaseデータベース
- Microsoft Word 2000以上のクライアントまたはサーバー、あるいは両方
- ハイランドコアサービス
- Windows 98、NT 4.0 SP 6以上、2000 またはXP

HYLAND
SOFTWARE

28500 Clemens Road • Westlake, Ohio 44145 • p.440.788.5000 • f.440.788.5100 • www.onbase.com
©Hyland Software, Inc. All rights reserved. Trademarks are the properties of their respective owners.